

## 次期総合計画タウンミーティング（港区） 開催報告

1. 日 時 : 平成 30 年 11 月 17 日（土） 10 : 00～11 : 58
2. 場 所 : 港区役所講堂
3. 出席者 : 河村市長、小山港区長、総務局松雄企画調整監、総務局難波企画部長、  
総務局鈴木企画課長
4. コーディネーター : 加藤 栄司氏（（一社）地域問題研究所調査研究部長）
5. 参加者 : 65 名
6. プログラム
  - (1) 開会
  - (2) 市長あいさつ
  - (3) 名古屋市次期総合計画中間案の説明（映像）
  - (4) ご意見・ご提案の聴取
  - (5) 閉会

### 7. 発言の記録

#### ○市長あいさつ

##### 【市長】

- ・おはようございます。
- ・ようお集まりいただきまして。お休みの午前中ということで、ありがとうございます。
- ・今日のこれは、いわゆる中間案ということですが、大体役所みたいな、中間だ言ってま  
ず出して、そのままやってまうというのが多いんですけど、わしはいかん言ってま  
すんで、ちゃんと皆さんのお話も伺って、ちゃんと市長の言つとることも取り入れない  
かんと。当たり前ですわな、これ選挙で出とるんだで。ほんでやってかないかんとい  
うことのでございますので、本当に遠慮せず何でもおっしゃってちょうだい。お願いします。
- ・今日は港区ということでございますので、港区は何と言ってもいのは変な言い方だけ  
ど、やっぱり防災の話が圧倒的に重要でございますので、そんなことでいろんなご意見あ  
りましたら、本当に身近な、自分とこの近所の何がどうかという話でも結構ございま  
すので、ぜひおっしゃってください。
- ・もう 1 個は、港区は、役人の書いたやつによりますと名古屋全体のどうのこうのって書  
いてありますけど、名古屋の位置づけも大きいですけど、皆さんご承知のように日本一  
の港ということで。多分全体的なこの地域の力まで見ると、この辺は世界一のもの、産  
業集積地ということで。どえらい空襲で地獄を見ましたけど、港区も名古屋もですね、  
今や日本を支えるナンバーワンの都市というふうになつとります。そんなことで、この  
港区をどうやっておもしろえところにするかと、産業力をさらに強化できるかというこ  
とは、名古屋のためということもありますけど、日本中のため、ひいては世界のため  
ものすごい重要なところでございますので、そういう視点からもご意見がありましたらど  
うぞ出していただきたいと思えます。

- ・そんなことで、今日はようおいでいただきまして、サンキューベリーマッチ。

## ○ご意見・ご提案の聴取

### 【コーディネーター】

- ・改めまして、皆さん、おはようございます。
- ・今映像を見ていただきましたけども、名古屋市次期総合計画の中間案、いかがでしたでしょうか。大体ご理解いただけましたでしょうか。
- ・これから皆様方からご意見を頂戴し、あるいはご質問を頂戴しまして、この次期総合計画の中間案に対する皆様方のご理解を深めていくための意見交換を進めていきたいと思っております。
- ・皆さん、お手元の資料をご覧ください。先ほどは映像を映すために会場を暗くしたためお手元の資料を見ることはできなかったと思いますけれども、この「NAGOYA をつくろう！」という概要版、この冊子はクリス・グレンさんが出演していた先ほどの映像の内容とほぼ一致しているものです。とりわけこの中でもこれから皆様方にご意見を頂戴したいところは、5 ページ、6 ページになります。ほかの方のご意見やご質問を聞きながら、どのところを指して言っているのかということを確認いただくためにも、お手元に置いていただきたいと思っております。
- ・それでは、着座して進めさせていただきます。
- ・まず、本日の進め方についてご説明していきたいと思っております。
- ・3つのパートに分けてご意見、ご質問を頂戴したいと思っております。具体的には、お手元の資料5ページをごらんください。まず最初に都市像1、2についてご意見、ご質問を頂戴しまして、それに対しまして市長を始め市職員から回答を述べさせていただくというスタイルを進めます。そして、それが終わりましたら、テーマ2ということで都市像3、4について皆様方からご意見を頂戴し、そしてまた市からコメント等をさせていただきます。最後に、都市像5と全般にわたってご意見、ご質問を頂戴するというスタイルになります。
- ・要は、一問一答ではなく、中間案のどの分野に関して皆様ご意見いただいているのかということが会場の皆さんにわかりやすくするために、今申し上げましたように3つのパートに分けて、数名からまとめて質問、ご意見を伺って、まとめてお答えするというスタイルを進めていきたいと思っております。
- ・これから進めるに当たってのお願いについて説明いたします。
- ・まず最初に申し上げておきたいのは、いろいろ皆さん日ごろ生活で感じておられることを今回ご意見、ご質問なされるかと思っておりますけれども、今回はこの名古屋市次期総合計画中間案に対するご意見等を頂戴する機会であることをご理解いただきたいと存じます。特にこの中間案をよりよくしていくためにどうしていったらいいのかということをご意見を頂戴したり、内容のご理解を深めるための質問をして、それに対するお答えをさせてもらうということになりますので、それを念頭に置いていただきたいということが、イの一番のお願いでございます。
- ・2つ目のお願いは、皆様方には挙手をいただいて、それからご発言いただくというスタイルにしているということです。私がお指名いたします。会場広うございますので、マ

イクを通さないと会場の皆さんに多分聞こえないと思いますので、係の者がマイクをお渡ししますので、はっきりと聞き取れるようにご発言いただきたいなと思います。どうしても皆さん早口になってしまうこともあるかと思いますが、その辺はご注意ください。それが2点目のお願いです。

- 3点目のお願いは、お名前とお住まい。例えば、今日は港区で開いていますけど、港区に住んでおられない方も来ておられると思いますので、場合によっては何々区、例えば「千種区から来た何々です」というような感じでお話しいただきたいと思います。港区の方であるなら、学区名ぐらいで結構です。「何々学区に暮らしています何々です」という形でご発言いただいた上でご質問、ご意見をいただく。これが3点目のお願いです。
- 4点目のお願いですけれども、ご発言が終わりましたら一旦係の者にマイクをお返してください。
- 5点目のお願いです。今日はそんなに極端に人数が多くありませんので、多分手を挙げられる方全て指すことができるかと思いますが、とはいいいながらもできるだけ多様な方にご意見、ご質問を頂戴したいと思いますので、お一人様大体3分ぐらいでお話をまとめていただいて、ご意見、ご質問いただきたいと思っております。もちろん私はきっかり時間をはかっているわけではございませんので、正確に3分とは申し上げません。皆さん、話が長過ぎたなと思ったら最後一言まとめていただいて、それぞれ工夫していただければ構いません。ただ、あまりにも長かった場合、どうしても一生懸命気持ちがこもってお話しされると長くなりますので、その時には私からさりげなく「まとめの一言お願いします」という風にできるだけ優しく申し上げますので、皆さん方もお気を悪くせず、優しく受け答えいただけるとありがたいと思います。そんなような進め方でやっていきたいと思っておりますので、皆さんご協力をお願いいたします。
- 皆さん、もう1度5ページ、6ページをお開きください。
- これから数名の方にご発言いただきたいところは、めざす都市像の中の都市像1と2です。具体的には、ここにございますように、「人権が尊重され、誰もがいきいきと暮らし、活躍できるまち」、「高齢者も障害者もみんなが元気！」ということで、高齢者の方も障害のある方もみんなが元気にいきいきと暮らせる、そういう都市像です。高齢者福祉の話、障害者福祉の話でございます。都市像2「安心して子育てができ、子どもや若者が豊かに育つまち」「子どもや若者のあふれる笑顔！」とありますけれども、子育て支援の話、少子高齢化に向けての学校教育の話とかいろいろあろうかと思っております。それから、若者が元気に働いたりすることができること、閉じこもりにならないように、あるいは閉じこもっている若者が社会に復帰していくような、そういうことが都市像2と捉えていただければ結構でございます。
- さて、都市像1、2でございます。それ以外の都市像についてご意見ある方はまた後で受け付けますので、まずは都市像1、2に関しましてご質問、ご意見ある方、挙手いただきたいと思っております。どうぞ。
- 最初はやっぱりなかなか挙げにくいですね。
- よろしいですか。お指しします。マイクをお持ちしますので。
- 手話通訳、お願いします。

### 【1人目（港区）】

- ・私は、聴覚障害者です。
- ・言いたいのは、名古屋市の職員の方々、皆さん手話通訳の資格を取ってほしいと思っています。
- ・もう1つ、高齢者とのコミュニケーションのための手話言語条例というのがあります。その制度を進めていただきたいと思いますので、その2つをよろしく願いいたします。
- ・手話言語条例といいますのは、名古屋市として制度として認めていただきたいと思いますということです。制定をお願いしたいと思っています。
- ・ちょっと補足しますと、手話を言語として認めてほしいということを強くお願いしたいということです。

### 【コーディネーター】

- ・わかりました。
- ・勇気を持って一番最初にご発言いただきまして、ありがとうございます。
- ・ほかの方いらっしゃいますでしょうか、いかがでしょうか。
- ・途中でまた思い出したり、何かお話を聞く中で気になる場所があったらぜひ声を上げていただきたいと思います。
- ・失礼しました。今マイクをお持ちします。

### 【2人目（港区）】

- ・子どもですね。今、待機児童って、結構東京とかでも問題になっていると思いますけど、名古屋市ではどうなっているんですか。
- ・それと、やっぱり保育士さんの問題ですね。結構民間等々で今ニュースになっていますので、その辺のところ。民間に保育士さんを入れるにしても、そういう指導を名古屋市としてはどういうお考えを持ってみえるのかなということです。

### 【コーディネーター】

- ・それは、保育士の質の確保みたいな感じですか。

### 【2人目（港区）】

- ・そうですね。と、経営者の質の確保ですね。
- ・以上です。

### 【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。都市像2にかかわるご意見でしたね。
- ・ほかにはいかがでしょう。
- ・ちょっとエンジンかかってきましたね、皆さん。よろしいですか。
- ・とりあえず、今お二方からご意見、ご質問を受け付けました。
- ・まず最初は、手話の資格取得を職員全員に。そのためということもおありになると思い

ますけど、手話を言語と認めるような条例をつくってほしいというご意見でした。

- ・2人目の方からは、子どもの待機児童は一体どうなっているのか。それから、保育士が不足する中で、民間の保育園の保育士を雇う場合、しっかり質を確保するために行政的に何か手当てしているのか、指導しているのかどうかと。それはしっかりしなくちゃいけないという意味合いもあってのご質問だったかと思います。
- ・まず、市長、お願いします。

## 【市長】

- ・ありがとうございます。おはようございます。
- ・まず、1人目の方、ご苦労さんでございます。サンキューベリーマッチということで。
- ・言語条例の制定のほうは先の感じになるかわからんけど、一遍、市役所職員に、全体に。強制的にやらせるのはちょっとどうかなと思いますので、手話通訳の免許を取るように努力するかと、手挙げやあと、一遍聞いてみたいと思います、これは。ほうでしょ。お金は、そのくらいは市で出すだわな。と思いますけど。それは一遍やってみます。
- ・それから、手話言語条例というのは、手話を一つの言葉としてちゃんと認めてくれと。確かにそうだわね、これ。英語の授業ばっかわーわーわーわーやってですね、これ。手話なんかもっとちゃんと堂々と言葉として認めて。当たり前のことだもんで、これ考えたら。これも早速一遍検討したいと思います。
- ・2人目の方、待機児童、名古屋ではということで。待機児童は名古屋の目玉政策の一つで、わしが市長になったときは2年連続ワーストワンだったんです。年間に7つか8つぐらいしか保育園つくっとらなんだですわ。今は、10倍までいかんけど、8倍ぐらいはつくってきたんじゃないかな。今は待機児童は5年連続ゼロになっておりまして、名古屋と京都だけですね、でかいとこで、政令都市というか都会のとこで待機児童はやっぱり発生しやすいもんで。
- ・新聞なんかには、保留児童と言いますけど、希望しても入れん人が名古屋で833人。これ見ますと名古屋だけみたいに見えますけど、某でかい都市なんか何千人とおりますから。だけどこれは、わしもずっとフォローして電話かけたったことがある、ごまかしとるといかにいって、これ勝手に。そしたら、本当に特定の保育園を指名した人ですわ、私はここに入りたいと。保育園の入園の用紙見てみますと6カ所書くことになってます。入りたい保育園ずっと。満員だと入れんですよ、やっぱり。誰か出てってもらわないかん、これは。
- ・ようテレビでやりましたけど、兄弟が入るととこへ入れんかったいって。それは、兄弟が入るととこの人が、複数入ると誰か入れんですから、これは。この場合は、名古屋市が骨折りましようかという欄があるんですわ。そこで丸を打った人には紹介しまして、今んとこ全部入ってもらっとります、これは全部。なるべく近いとこから、行きやすいとこから紹介してくとということでございまして。
- ・そういうのも完全になしに、全員が必ずということになると、小学校の中につくるだわね、保育園を。小学校の中か横につくって。中がええと思います、フェンスがあるで。こうなりますと全員入れます。しかし、好きなどこは行けんですよ、今度は。小学校と同じになるということですよ、学区制みたいなものです。それでもええんですわ、言って

みりゃ。

- ・そういうやり方でいくか、今コンビニなんかも。あんま言うとなあれですけど、ファミリーマートがぜひ保育園やらしてくれ言ってまして、やってもらおまい言っとんですよ。やっぱり便利だで、おっかさん方。広い場所だったら敷地の中に保育園つくる、狭いところだったら2階につくる言ってました、これは。この場合、子どもが将来少なくなつたときに転用がきくもんでね、こっちのほうが、商売のほうですから。非常にええんでないかということで、はよんどどこんどこ進めてけと言っとるんですけど。それはそれで進めていきまして、今んとこ名古屋のどこへ筆頭政策の1つになつとりまして。
- ・東京へわし縁があつてこの間応援に行きましたけど、知事の。東京でものすごい、これ待機児童がある。こんなもん失政だ言っとんです、こんなもの。何やつとんだいって。つくりゃええがや言うとな財源がないと。自分らの給料が高過ぎるんだいって、本当に。たまには褒めとかなかんけど、今偉い様がここに並んどりますけど、名古屋市は職員の給料1割下げたんです、これ実は。僕はもっと下げましたけど。1割下げたお金をちゃんとつくて、70万ですから180億下げて。ほかの改革もありますけど、お金だけのことでいうとな人件費がわかりやすいもんで、180億のうち100億が減税です、これ。あと80億が、ほかの改革もありますけど、それで保育園をようけつくてきたということですよ、これは。ちゃんとその分財源つくとるんだ。だから、たまにはよう役人も褒めたりゃ、本当に。日本で一番給料高かつたんです、名古屋の職員は。今12位です。70万下がったと。ものすごい数がおるで、すごいわけですよ。というのが大きい理由で、待機児童ゼロになつとります。5年連続ですから。
- ・保育士さんには有名な、民間の保育士さんにも公務員並みの給料を支払つとりまして、これはもうすごい金ですよ、これ名古屋は。そういうことができとるわけですよ。名古屋は日本一給料が安くて、日本一の福祉。自信持って言ってもらつてもええですよ、これは本当に。ということで、保育士さんは一応数は確保しとりますけど、そうも言えんということで、日本中ちょっとスカウトに行つてこいということをやつとります。
- ・経営者にどういふトレーニングしとるかいうのは、ちょっとわしも知らんですけど、質のええ保育を提供するために努力していただいとることはわかるとるけど。役所が指導をどうやってやつとるかちょっと知りませんので、何ぞコメントがあつたら。

#### 【企画調整監】

- ・保育園の質の確保の問題についてご指摘いただきまして、ありがとうございます。
- ・毎年度、全箇所に関員が入りまして実地の指導をしておりまして、そういう面で保育園を、現場を見させていただいて、質の確保を実施しているというのが現状です。
- ・民間の保育所についても同じような指導をしております。これから保育所の数も増えてまいりますので、役所側の体制も確保しながら、引き続き市の補助については行つていきたいというふうに考えています。
- ・保育士さんが全国的に足りないという状況がございます。ただ、名古屋の場合については、保育士さんが足りないから保育園ができないという状況にはなっておりません、現在のところ。ただ、保育士さんの宿舎の借り上げとか、奨学金を借りた場合については、例えば名古屋市で就職していただきますと返済しなくてもいいとか。それから、市長が

申しあげましたように、公務員の保育士さんと民間の保育士さんの給料が違ってはいかんもんですから、これも補填するような形で政策を進めているところでございます。

・以上です。

【コーディネーター】

・今回の総合計画の中間案の考えですけれども、子どもの話はかなり力を入れて、市として考えている。これは市長の考え方でもあり、また市としての考え方でもあると思います。

【市長】

・どうせ年食ってきたら死にますんで、子どもを応援せないかん。

【コーディネーター】

・1人目の方。私、今パソコンで調べてみたんですけど、条例ですね。昨年12月時点の新聞情報ですけど、全国では96市町が制定している。政令市だと札幌市がやっているみたいですね。私もその辺、認識不足で申し訳ありませんでした。

【市長】

・それは一遍調べますけど、そういうような状況だったら名古屋も制定すると。手話、どういう名前がええか知りませんが、手話言語条例ですか。それでええと思います。先んじというか、ぶいぶい言っとらずにもう制定するということでええと思います。

【コーディネーター】

・一応検討してみる。

【市長】

・検討だ言いましたけど、検討せんだってやりゃいいじゃん。

【コーディネーター】

・鳥取県が一番最初に制定しました。

【市長】

・検討せんって、めちゃくちゃな意味じゃないですよ。ちゃんと検討はするんですけどということですよ。

【コーディネーター】

・今都市像1、2についてお二人様方からご意見、ご質問、それに対して受け答えしていただいたわけですが、次のパートに移りたいと思います。最後は総括的に全般にわたってご意見頂戴したいと思いますので、都市像3、都市像4についてのご意見、ご質問を頂戴したいと思います。

- ・まず都市像 3「人が支え合い、災害に強く安心・安全に暮らせるまち」「災害に強く安心・安全！」ということですね。この中には、当然今申し上げたような災害の話もあれば、防火の話もあり、あるいは防犯の話も入ってくるかと思えます。それから、都市像 4「快適な都市環境と自然が調和したまち」「環境にやさしく快適・便利！」ということで、都市環境、都市空間そのもののお話ですね。それから、自然の話、景観とか環境問題に対する対応の話、そんなことがこの都市像 4 の中に含まれてくるかと思えます。
- ・今申し上げた都市像 3、4 に関しまして、ご意見、ご質問ございましたら挙手をお願いいたします。どうぞ。
- ・後ろの方、よろしく申し上げます。

### 【3 人目（港区）】

- ・私は町内会長をしております。災害対策委員でもありますので、一言。港区ということで、災害は非常に関係がありますので、ぜひ皆さんに実態を知っていただいて、それで名古屋市側のご意見も伺いたいと。
- ・この夏に私は初めて高潮防波堤というのを、あそこは立入禁止だもんですから、ある団体のあれで防災という形で見学させていただきました。平成 28 年に完成したと思えますけど、あそこは名港管理組合の管理下にありまして、トップは市長ということでございますけれども、来年の 9 月までですか。2 年ごとに県と名古屋市とが交代で管理するというところで。
- ・見せていただきましたけれども、あそこは私、防波堤ではあるんですけど、防潮堤ではないんじゃないかと。結局、広い航路がありまして、大きな船が出入りする東航路と西航路がありまして堤防が塞がれているわけじゃありませんので、川でいいますと堤防が切れているという状態で、港区の皆さん方もあまりご存じじゃないかと思いますが、結局津波が来たらまともに名古屋港の場合入ってくるという状態でございます。私が申し上げていることが違っているかもしれません。
- ・名港管理組合は、内陸沿岸部に防潮堤——防波堤と防潮堤とは違いますので、防潮堤というのを計画されていまして、今は中川運河と堀川の閘門、鉄でつくっているのをアルミにかえるということで工事が行われていますけれども、10 年計画で内陸沿岸部の防潮堤をつくるということなんですけれども、一般市民にはほとんど知られていない。私も夏に見させていただいて、これはいかんということで名港管理組合のホームページを見させていただいたら、ちょろっと計画が出ているだけで詳細はわからないし、見ていると 10%も進捗していないということで。
- ・これ、先ほどビデオで見ましたように、今後 30 年のうちに確率 70%から 80%で東南海地震が起きるということで、備えなくちゃいけないんですけども、一般に高潮防波堤ができたということで皆さん安心されているんですね、港区の方は。知らされていないから。だから、こういう情報をしっかり公表していただいて、どこまで進捗したかチェックしていただきたいと思えます。これが 1 点です。
- ・もう 1 点、防災に関連する避難所の運営に関してですけども、今年 9 月、非常に大きい台風が来るということで、高潮が 4 メートルを超えるだろうということで、ここら辺は全部埋め立てですので浸水するであろうということで朝から避難所の準備をして進め

てまいりました。今年初めて中川区で、小学校と中学で避難者が3~4名出ました。

- ・区の職員の方も詰めていただきまして、夜から夕方まで頑張ってくださいましたけれども、そこで感じたことは、人数が少なかったものですから会議室をお借りしたんですけど、私も詰めていまして、3時間ぐらい椅子に座っているともうえらくなっちゃうんですね。これが和室でなくて例えば体育館等で床の上に座ってということになると、お年寄りなんか大変だと思うんですね。今備蓄は、おかげさまで食料とかいろいろ備蓄していただいとるんですけど、床にする段ボールとかマット、そういうものはないです。それから、例えば暖房器具、冷房器具、炊飯、そういう道具も、もちろん学校ですから給食の設備はあるんですけども。
- ・私も年2回、学区を3つのブロックに分けて担当して避難訓練をやっているんですけど、今の避難訓練はとても実践的ではないものですから、もし事が起こったら役に立たないのではないかと、せっかく皆さんにご尽力いただいて準備はしているんですけども。
- ・それで、1つの提案なんですけれども、この前も段ボールのベッドをつくろうと思って1個買おうと思ったけど、1セット1万5,000円なんです。それを買ってもいいんですけど、それも劣化してきますし。ぜひ訓練のために名古屋市で備蓄センターをつくっていただいて、そして訓練用の機能を貸し出していただくとか。ああいうものは使っていると劣化しちゃいますので、使わなければ捨てちゃうようなことになっちゃうもんですから、ぜひそういう形でお願いしたい。
- ・備蓄品も大分そろってききましたけど、先ほど申しました冷房、暖房、炊飯器具、担架、ストレッチャー、そういうものはありません。障害者だとか運ぶこともできませんし。そういうことで、有効に使うために市の中で備蓄センターをつくっていただいて、それを要望に応じて。事が起こったらどこで対応できるかわかりませんが、とにかく平生の訓練をしっかりしておかないと、会議やっとならぬと同じことなんです。ほとんど訓練らしい訓練はやっていないものですから、ぜひお願いしたいと思います。それが、今の港区での防災のための希望を述べさせていただきます。
- ・ありがとうございました。

#### 【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・ほかの方。
- ・すみません。先ほど挙げていただいた方。

#### 【4人目（名東区）】

- ・私は名東区ですので、こういうタウンミーティングはあちこち時々見に行くんですが、名東区でやるのを見逃しまして、ここへ来ました。僕がこれからお話ししたいことは、先ほどの方と同じ、やっぱり災害のことをちょっとお話し、お願いしたいんですが。
- ・私は、名東区のある学区で災害対策委員、老人クラブの会長等をやっております、やはり災害、名東区じゃあまり発生しないだろうという、皆さん津波のことばかり頭にあるんですが、実際は熊本の地震にしろ大阪の地震にしろ直下型ですから、東海とか東

南海地震が起こったときに、それが引き金になって、まだよくわかっていない活断層があるんですね。そういうのが起こったときに、名東区だって人ごとではないということを書いて、私ら災害対策委員というのはそういう場合を想定してつくって、18名の人間でいろいろやっております。

- ・頻繁に訓練をしています。施設をつくるとかいうようなことばかり皆さん、そういうハードな面じゃなくて、ソフトの面に力を入れて、みんなが訓練できるように。それから、避難所の運営。私は避難所運営リーダーにもなるんですが、いざ避難所を開設したときに、区役所の職員とかそういう人を当てにしません、自分らでやります。そのぐらいの意気込みでないといけないんです。区の職員が全部来てくれるなんてことは無理ですから。
- ・ということは、うちのほうでもしよっちゅう議論しているんですが、もし大災害がこちらで起こったときには、今言われた港区とか中川区のほうは津波が起こりますから、消防団とか消防署の職員とかそういう人はみんなあちらのほうで招集されます。ですから、彼らはいつも僕らは当てにしないでと。だから、住民でなるべくお願いしたい。これが地域力というものなんですね。ですから、毎年ですが、秋になりますと小さな校区ごとに防災訓練をやるんです。簡単なことですけど、そういうのにもっとみんながどんどん出てきてくれるとありがたいんですね。
- ・例えば救助担架をつくるたって、みんなきよろきよろしてあれやれこれやれと行って、周りにおいて私語をかわしているだけで、それじゃだめだよって、僕はみんなの後ろへ回ってやれやれって言うから僕は嫌われています。名古屋市長は嫌われておりませんが、私は嫌われております。みんな、やってみないとわからないですよ。救助担架やって人の重さってどのぐらいだというのは、それは持ってみるとわかるんです。誰だって見とるだけだったら、大谷翔平にみんななれるんかと言うんだけどね。とにかくやってくれと。ご夫人は後ろのほうにおいて私語を交わしとるだけじゃだめだよ、夫がいないときだって災害が起こるんだぞって常々言っています。そういうことで、皆さんが何とか協力してくれるようなガイドラインというのか、そういうのができるといいなと思うんですけどね。
- ・今日ここへ、港区まで僕は遠征してきたんですが、1つ残念なことは、今日も参加者がそんなに多くないですね。それと、若い世代の人、今日なんか土曜日だから出てこれるんですよ。名古屋市の次期総合計画をつくるのにどうして若い人がいないんだ。もう余命幾ばくもないような人がたくさんおったって、ほとんど意味がないと僕は思っています。
- ・なぜこういうことを言うかという、僕も若いときに愛知県庁に勤めていましたので、企画部におりました。そのときに地方計画なんかも立案したんですが、やっぱり若い人が来て、それを実現できるような世界を見ていかないかんじゃないかって地方の土木事務所なんかに行ったりしていろんなことを、計画をお話するんですけど、みんな聞きに来てくれる人はね、こんなこと言っちゃ悪いけど、僕らの今の年代のような人ばかりです。僕はいつも力説するんですけど、若い人がどんどん出てきてくれるような雰囲気をつくっていただきたいなと思います。
- ・言いたいこと言いましたけど、すみません。
- ・ありがとうございました。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございました。
- ・では、港区の皆さん、名東区の方からも防災の話が出ましたけど。
- ・いっぱい挙がりましたね。後ろの方、お願いします。

【5人目（港区）】

- ・都市像4のことです。港区の一带は、とにかく思うんですけど、三河地震があったときに液状化ですね。あまり液状化ということをや今、この前の札幌地震も液状化で非常に苦しんでみえる。液状化対策というのはあまり聞かないんだけど、どこも。難しいということはある。その辺の建築条件とか、液状化対策というのを。やっぱり港区の辺は江戸時代の干拓地ですね、要は。まだ干拓地でも大分古いからいいと思うんですけど、やっぱり液状化対策というのを、具体的なものがあればちょっと教えていただきたい。
- ・今後の建築行政ですね、高い物を建てちゃいかんとか、そういうものもやっぱり今後必要でないかなと。一旦傾いちゃうと非常に後、液状化対策で土台を組んでまたやると非常に甚大なお金がかかるもんで。津波とかそういうことも心配ですが、あの辺の地域はどうしても液状化ということを私は非常に今危惧していますけど、ぜひその辺の対策があれば教えていただければありがたいです。よろしくお願いします。

【コーディネーター】

- ・ありがとうございます。
- ・これはいっぱい質問出てくると思いますので、次の方いきたいと思います。
- ・今度前の方、こちらの方お願いします。

【6人目（港区）】

- ・先ほど、区政協力委員兼災害対策委員という発言がございました。私一番心配しているのは、担い手不足です。今現在、私ども学区の中には18の町内会がございまして。区政協力委員がおります。そこで、今は年齢制限を設けられました。それに関連しまして、市営住宅の入居条件がうんと昔から下がったわけですね、年収。こういうことで、いわゆる若い人たちが本当におらなくなってしまうと、少し給料をとるようになるともう追い出しですね、汚い言葉で言えば追い出しなんです。
- ・そういうことで、担い手というのは本当に不足して、今既に1町内が区政協力委員兼災害対策委員になる人がいないんです。でも、排除してしまっただけではいけないということで、町内会長さんであるけど区政協力委員じゃないけども一緒になってやってもらっているということで、その方が出てきているんです。そういうことで、私が一番言いたいのは、担い手不足はこれからどんどん出てくるんじゃないか。
- ・それにつけ加えてもう1つ言わせてもらいますと、はっきり言って、20年ぐらい前かな、もう既に手当がどんどん下げられる。今本当に、私ども区政委員長なんか6万円ちょっとぐらいですね。これ、いつも要望を出しているんですけども、簡単にはねられてしまう。市長は、公務員と民間の格差があっちゃいけないと言うけども、我々の仕事っ

ていうのは 20 年前からいったらものすごく増えているんですよ、増えているにもかかわらず全然目をあいてくれないというのが私は非常に残念だなと。

- ・もう 1 つ、市営バス。これは累積赤字、今はっきり私頭にないんですけれども、黒字化されたということは聞いていません。名古屋競馬場を廃止されるということで以前おりました、今黒字化されました。でも、市バスの黒字化という手だては今どんな方向に行っているのか。
- ・今ちょっと見てみますと、豊後のほうではマイクロ的な形で動いて、それで市民の足になっている。名古屋市としては、大きなバスをそのまま使って、確かに切りかえるというのは難しいかと思えますけれども、そのまま使って、人が乗っていないようなバスで、運転手と 1 人 2 人乗っていただければいいかなというのが、同じガソリン、燃料を使って動いとるわけです。この辺のところをひとつ対策というか、もう少し方向性が見えてくると、赤字対策ですね、そういうことで方向性が見えてくるといいかなと思っております。
- ・以上、長くなってもいけませんので。
- ・ありがとうございました。

#### 【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・まだ手を挙げている方がいらっしゃいますけど、一回ここで区切らせていただいて、また最後のところで全般通してご発言いただきたいと思えます。
- ・4 名の方からご意見いただきました。防災に関すること、非常に関心が高いと思えます。
- ・質問がたくさんありましたので、私が一々まとめていると時間を割くことになりますので、早速コメントをお願いしたいと思います。
- ・まずは、市長、お願いします。

#### 【市長】

- ・ありがとうございます。
- ・まず、3 人目の方の、確かに高潮防潮堤は、あれ、西と東航路がありますもんで途中が抜けとりますんで、ちょっとその点、本当は意味が違う。だけど、その後の、その内側に防潮壁がありますけど、そのほかに防潮堤をつくるというのはわしも聞いたことないんだけどな、これ。何で聞いとるか。聞いとるか、本当に。

#### 【企画部長】

- ・多分、防潮壁の整備じゃないでしょうか。

#### 【市長】

- ・いや、今の話は、防潮壁というのはありますわね。そのほかにもう 1 個防潮堤をつくるというのは聞いたことない。防潮壁の整備はやる。

#### 【3 人目（港区）】

- ・名古屋港管理組合のホームページの中に写真が出ておまして、海上なのか。ここは実

態があまり公表されていないんです。だけど、写真が1枚ありまして、今は中川運河と堀川の閘門が鉄でさびているから、アルミの閘門にかえていますと。その周辺を、黄色のマーカールがありまして、こういうことで10年計画で、整備なのか改良なのかちょっとわかりませんが、そういうふうに出ています。それだけの情報しかないんです。だから皆さんは、市民の方はほとんど知らないと思います。だから、これは我々港区の住民として知る権利があるものですから、公表をお願いしたいということです。

【市長】

- ・これは説明せないかんわね、幾ら言つとる言つても、聞いた人が理解されんようなことでは言ったことになれへんもんで。後からとりあえず。
- ・防潮壁いうののいろんな、防潮壁だけは若干たしか液状化のこともやつとると聞いたことありますけど。

【3人目（港区）】

- ・名古屋港のガーデンふ頭の入り口にも防潮壁ありまして、ちゃんと遮断壁になってる。

【市長】

- ・あれは防潮壁。

【3人目（港区）】

- ・全体でどういうふうにつながっているか、私どもは理解してないもんですから。

【市長】

- ・じゃ、後でちょっと説明をしてもらいますけど。
- ・避難所運営について、確かに食料の話はよく聞きますけど、今言いました段ボールのベッドだと1万5,000円ということがありということで、冷暖房なんかも全然置いてないかね、あれ。石油ストーブぐらい置いてないかね、あれ。どうなつとるか知らんけど。

【3人目（港区）】

- ・私どもがいただいたリストには入ってなくて。照明器具と発電機はありますけど、その発電機も2台ぐらいで、それだけ能力があるかどうかわかりませんし、電気がなければ暖房器具もクーラーも扇風機なんかも使えないので、そここのところが課題なんですけれども。
- ・実は9月にはちょっと気温が下がっておりまして、ちょっと寒い状態でしたのでそんな感じがしたんですけれども。

【市長】

- ・わかりました。一遍これ、まとめるいうか検討せないかんけど、せつかく区長がおるもんだで、ちょっと後で一遍。
- ・全区やらんでも、まず港、南、中川の辺から進めてくというのが大事。後でちょっと。

- ・4人目の方ですが、いろんなハードを言うけど、頻繁に訓練して町内に、要は役人らが出てきてくれるようにならんかと。実はそうなんだ、ここでも言っときますけど、ちゃんと区役所の職員ないし市の職員に全戸訪問しろと一遍、ざーっと行ってね、これ。できんと言いますけど、人数の数でいいますと、教員除いて2万5,000人おる、これ、名古屋市の職員。で、100万世帯ですから、全員が回るとすると40世帯ぐらい。40世帯いうと、大体1日で楽々回れます。6割留守ですけどね、ただ。もう一回行かならん。前へ行って、そういうことで、ぜひ今度はこういう防災訓練があるけど出てきてちょいってとかね。

【4人目（名東区）】

- ・私どもやってます。だけど、皆さん頭が高いからなかなか来ないんです。

【市長】

- ・住んどる人がかね。

【4人目（名東区）】

- ・訓練は、下々の人がやればいいという感覚なんです。

【市長】

- ・偉い様は出てこんど。そりゃ、区役所の職員行くだわ、それは。
- ・わしは結局、足を運んで心を届けるってね、ちゃんと回らないかん言っとんの、これ。そうするとみんな喜ぶぞいって、区の職員や市役所の職員が訪ねてくると。

【フロア】

- ・市長が訪ねていったほうがもっといい。

【市長】

- ・ええよ、わし行っても。わしは選挙運動を長いことやっとするけど、それ基礎なんです。1軒1軒回ってってそれぞれの話を伺ってくるちゅうのは基礎だもんだで、ほんだでやれ言っとんだけど、やらん言っとるでかんが。何なんだいって、一体これはと。

【4人目（名東区）】

- ・給料が安いでじゃないかな。

【市長】

- ・給料安いったって、おまえさん、12位で平均630万ですよ、名古屋市の職員下がっても。平均ですよ、言っときますけど、630万。
- ・ということをやらんといかんわなど、一遍。そうすると外国人の方や不自由な皆さんとか直接話せるがね。普通学区連協なんか出てこんような人たちともしゃべれるもんだで。と思う。やらないかんと思います。

- ・若い人がいないというのは、これは本当の問題で、こういうのでいかにいって、やっぱり選挙で一遍導入して地域委員会というのをやろうとしたんです、これが名古屋で。やった人はみんなよかった言ってますよ、あれ。やった人は。よう知つとるからみんなあれですけど、みんなよかった。だから、一旦これ参加してもらうためには若干、参加せよ参加せよと言つとるだけではやっぱり来ませんね。それだけの、1つの民主主義の機構の中でちゃんと組み込まれたいいものをつくらないかんということがあれだったんですけど、なかなかうまいこといかんこともあると。
- ・5人目の方の液状化ですけど、これは実は最大の問題で、はっきり言ってようわからんと、はっきり言いますと。日本最大のゼロメートル地帯だと、全部やることになるとうなるかとかいうことがあって。やれるとこだけ先にやったりして、防潮壁は割とやれるところをやりかけると言うんだけど、ほんでもあれだろ、建物つくるときに基礎調査やりますんで、みんな。そのデータは、50メートルに1個ぐらいある言っていましたよ、あれメッシュでざーっと。

### 【5人目（港区）】

- ・液状化マップは出してますよね。

### 【市長】

- ・液状化マップは出とるか。なら、知ってもらうようにせないかんね、それ。
- ・一般的にわしが聞いとるのは、なかなかこれは予測がつけれんような状況だという話がありますけど、このかつてのゼロメートル地帯だったところは特に丁寧に一遍、今の液状化マップのことをもうちょっと言うか。だけど、一時はそういうことをやると地価が下がるとかね、浸水のマップでもいう話がようあったんですよ。だで、あんまりやらんほうがええ言つとったけど、出しましたんで、浸水のほうのやつは。だで、液状化も皆さんにわかるように。
- ・そういうのを家庭訪問して持ってかないかんわ、これそうなる。ただ出しましたいってばっと配つとるだけでは肝心の、しょっちゅう出てくる人は結構意識の高い人ですから、そうでない方のところへ届けへんでいかんわ、それが。どうやって届かせるかいったら、1軒1軒どうも言つて、区役所から来ましたといつて、わしこうだけよ言つて。そうやってやるのがベスト、一番ええですよ。何でやらんのかわし不思議でしょうがない。零細企業やってきましたんで、そんなこと当たり前のことだよ、お客様のところに行くというのは。
- ・6人目の方の、いわゆる担い手不足。これは、某政党の方が提案して、俺もやりゃええが言つとんの。市営住宅に入ったときに、収入要件もありますけど、例えば地域活動をやるということがあったら入ってもらったらどうだという提案があるんですよ、これ。それええことじゃないのと言つとるんですわ。そんなもん、もしいかんかったら特区申請すりゃええんです、もし住宅などのほうで。
- ・大抵ね、僕の今までの体験からすると、国などの制度がこうだできんいって市役所が言うのはね、ほとんど違います、直接聞くと。いやいや、そんなことないですよ。わしもこれまだちょっと聞いてないでいかんけど。一遍、ほんじゃ国に、本当に市営住

宅は一定の収入より高いと絶対入れていかんのかと、地域活動やっとなる人に一遍ちょっと聞いてみるわ。もう何回か話は聞いとる、議会でも話があって、実現されとらん1つの課題です、これは。

- ・委員長の手当6万円は安いと、何とかしろという話だわね。確かに20年前と比べると仕事どえりゃあ増えとるでしょ、これ。それと、最近は子どもの悩みですね、そのおっかさんの悩み。いつもいじめばっか言われるけど、いじめじゃなくても、発達障害とかそういうのもすごいんですよ、今これ。大体生徒の5%がそういう悩みを抱えとると言われております。大体1学年2万人ですけど、5%で1,000人。大体1万人近くの子どもさんたちが悩みを抱えとる言われとるんで、そういうこともあまり言うと、何でもええで区政協力委員やら消防団に頼んだことあるんだわ。これ、悩み回ってきてくれんかいて、おっかさんたち。だけどということになっちゃいますけど、やってもらいたい仕事はどえらいあります。特に子どものことまで含めますと。だで、6万円が、ご指摘を受けましたんで、ちゃんとこれは早速検討させていただきます。
- ・市バスの黒字化どうなっとなるというの、これも本当の問題だね。独占企業でしょ。昔よりはようになった言ってますけど、そんなもん独占企業は無駄があるに決まっとなるんですわ、これ。競争がないから、要するに。だで、まあそろそろ、昔ちょっとやりかけようとしたんだけど、何となく一人ぼっちになってまいりますし、役人は強いんだわ、団結しとるで。言いわけにはなりませんけどね、これはしっかり一遍。
- ・一番ええのはもう1個つくることなんですよ。競争理論の中で一番ええのは、同業他社をもう1個つくと、価格競争をやらせる。それが一番無駄遣いがなくなっていくことなんですけど、名鉄バス、そういうのありますけど、市バスが2つできるというのは大抵いかんのかなかと言おうと思えますけどね、本当にいかんかどうかわしもようわかりませんが。そういうことは考えられるということで、これもしつかりまた、ちょっとしばらくあれしてございましたけど、交通局と水道局です、上下水道の。この2つについては、競争相手がないんだもんで、議会とか僕らがきちんとチェックせないかんということでございます。

#### 【区長】

- ・区長からお答えさせていただきます。
- ・冒頭、3人目の方からご質問がありました高潮防波堤と防潮堤のお話ですけども、名古屋港管理組合もいろいろ広報には努めておるかと思うんですけども、十分届いていないというお話でございました。
- ・高潮防波堤は沖合のほうで、ごらんになられたということですけども、高さ8メートルのところが高潮を受けとめる、あるいは津波が来たときに第1弾にそこを受けとめるということで、あちらは耐震工事も全部終わってしまして、航路のところはどうしようもないんですけども、一応強固なものできておるとということで私ども聞いております。
- ・今度は、内側の市民を守る防潮壁のほうですけども、全部で総延長が26キロほどあるらしいんですが、防潮壁の中で耐震が弱い部分とか脆弱な部分が16~17キロぐらいあるということで、そこを今後10年間に計画的に補修をしていこうということで、

- これは国の予算も必要ですので、公職者の皆様とか区政協力委員の皆様と一緒に  
今国にも要望いたしまして、それがどんどん進捗していくようお願いしております。
- ・先ほども出ました中川口通船門と堀川の水門のほうですけども、堀川のほうは、こちら  
も耐震対策をきちんと両方ともやっております、中川口通船門のほうは 30 年度中  
には終わると聞いていますし、堀川のほうも順次今整備していますので、安心して  
いただけるように、こちらは割と順調に進んでおると、そんなような状況で聞いて  
おります。名古屋港管理組合に多くの市民の方、特に港区の方、お知らせができる  
ように広報は私どもも伝えさせていただきますので、よろしくお願ひしたいと思  
います。
  - ・避難所のお話でございますけれども、避難所の備蓄は、まず食料備蓄とか仮設トイ  
レとか毛布を優先的にそろえるということをやっております、その辺のあたりは  
避難所ごとに全部、収容人数に応じて順次配置をしたり、あるいは先ほど備蓄倉庫  
というお話もありましたけれども、市内 5 カ所に大型備蓄倉庫、港区にもござ  
います。もしその避難所で足りない場合は倉庫から持っていくという形をとって  
おります。
  - ・ただ、お話のありました段ボールとか担架、ストレッチャーあるいはリヤカーとい  
ったところはまだ十分にそろえていない状況がございまして、私ども区としまし  
ては、本当に地域の高齢者の方々をちゃんと避難所に避難していただくという  
ことになると、そういった道具も絶対に必要になると思っておりますので、防  
災局に強く要望しているところでございますので、決してそういうことを忘  
れているわけではございませんけれども、まだ少し追いついていないと、そんな  
ような状況でございます。
  - ・区政さんのお話、先ほどございました。今本当に多岐にわたってやっ  
ていただいております。特に防災につきましては、港区は本当にきめ細かく、  
町内会ごとにやっただくようなこともたくさんお願いしておりますので、本  
当にご苦労をおかけしていると思っております。そういった点で大変な、今  
のお金のことにつきましては私から何かお答えできるわけではありませ  
んけれども、私どももそういった点については配慮してくださいというこ  
とを市民経済局には要望しているところでございます。

・以上です。

#### 【市長】

- ・家庭訪問。

#### 【区長】

- ・家庭訪問というのは、私どもは先日、台風のときに、防潮堤の向こう側に住んでいら  
っしゃる方が 350 世帯ぐらいありまして、ここの中に避難勧告をさせていただいた  
ときに、その方々が全員避難をしたとか、あるいは避難しなかった場合にどんな理  
由だったのか、そういったことがそれぞれ 1 軒ごとに聞く必要があるような場  
合には、区役所の職員と消防署と防災局と一緒に 1 軒ずつ回ってお聞きを  
して、その状況を把握したといったことでやっておりますので、全部 1 軒 1  
軒回らないというわけではなくて、必要に応じてしかるべき、やるべきとき  
にはしっかりやらせてもらおうと思っております。

#### 【市長】

- ・そんなん一部やったでええじゃないかじゃないんですよ、一旦全部行くといろんなことがわかるし、あんたら喜ばれるよ、公務員が。大事なことは。でしょ、よう来てちょ。区長が行ってごらん、喜ばれるに。それは常識だっっちゃうの、そんなの実社会では。
- ・それから、避難所のことちょっと言っときますけど、新しい試みとして水道管ですね、上下水の耐震配管を、実は学校の外まで耐震配管になっとるんです。肝心の学校に入ってからがやってなかったというあほみたいなことで、トイレなんか外に仮設をつくるようなことやっと思ったんだけど、このたびそんなことではいかんいうことで、中へ入って、全部やってもいいし、1階なら1階だけでもええけど耐震配管にしますの。
- ・そうすると、避難所のトイレ、給食所、保健室、ああいうのは上下水がみんな使えるようになりますから、これ。これ実はものすごええことですよ、これ。給食室が使えますと飯つくれますからね、そこで。というのを、これ多分日本で名古屋だけじゃないかと。こんだけのことでですけど、始まってくということ。今年も、はよ全部やりや言うんですわ、特にこちらのほう。港、中川、南。そういうこともやっとりますんで、ご報告です。

#### 【コーディネーター】

- ・よろしいでしょうかね。
- ・時間もちょっと押しぎみでございますので、次に進めてまいりたいと思います。
- ・今のお話の中でも、なかなか地域の方が防災に関心、何か災害が起これば皆さん関心が上がるんですけどね。でも、市のほうでも専門部署からの派遣もあるみたいですね。そんなのも活用しながら地域のほうで知っていただく。なかなか広報って、ご覧になられない方も多いですからね。ですので、直接市の職員の方による出前トークという制度も活用していただきながら広めるのも手かなと思っておりました。
- ・最後のパートになりますけれども、今度は都市像5と全般ですので、また防災の話に戻っていただいたり高齢者の話に戻っていただいたりしてもよろしいかと思います。都市像5は、6ページをご覧になっていただきたいと思いますけれども、「魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち」ということで、高いブランド力を有し市民が誇りを持っているようなまちになっていく、「世界に冠たる NAGOYA」ということでございます。いつまでも元気で名古屋がいられるための都市像だと思います。それ以外に、さっき申し上げたように全般についてのご意見、ご質問があっても結構だと思います。
- ・すみません。こちらのほうあまり指していない。
- ・一番前にお座りの方、お願いします。

#### 【7人目（港区）】

- ・全体像についてのことからまず言います。
- ・検討委員会だったかな、何かやったときに学識経験者が山ほどたくさん入ってしゃべられておりますが、農政問題についての専門家が入っていないと。それが結果、今日は皆さんに配付は概要版ですが、全体像のところを見ますと、農政に絡んだところの問題が全面的に抜けてしまっている。それはそれで抜けても結構ですが、特にひどいのは、こ

の概要版じゃないほうの 36 ページにゾーニングで地図がありますけど、まさに港区、中川区のところは白地で何もありません、どうも関係ない。これが都市計画法上でいう市街化区域と市街化調整区域の線引きの差なんだと。

- ・そうすると、このめざす都市像とか始まるこういう総合計画は都市計画、市街化区域についてのみ言っているんだったら、調整区域に住んでおります西福田学区とか南陽学区とか中川区の富田学区なんていうところは関係ないのかっていうことになってしまうので、これもまたおかしい話です。この辺あたりをちゃんと考えられる人が入っていないということは、そもそも企画段階から欠陥があったんじゃないかと言わざるを得ない。
- ・ちなみに、名古屋市内におきましては、去年の資料でいくと耕地面積は 890 ヘクタールぐらいあります。そのうち南陽地区は 350 ヘクタールぐらい、中川がざっと 100 ヘクタールぐらいありますから、450 ヘクタールぐらいが調整区域の農地であります。それから、残ったところの 400 何十平米が名古屋市内に農地がある。そのうちの半分の 200 ヘクタールぐらいが生産緑地になっている。生産緑地が近々、30 年の末期を迎えて、これが一斉に、名古屋市が手を振りませんと、農業委員会は手を振っておりますけど、もう 4 回、5 回ぐらい説明会を開いて、特定生産緑地という制度に切りかえていきたいと思いますけど、それを嫌だということを言いますと、嫌だという意見が、考え方が強いとなりますと一気に 200 ヘクタールぐらいの土地が宅地化していきます。これは価格の下落を生じさせるような大混乱を引き起こすことになります。こういうことも問題ありますので。
- ・伝統野菜でもそうです。東京、京都なんの伝統野菜で負けちゃってますけど、もうちょっと尾張名古屋。尾張名古屋は城でもつでございまして、別に清洲越しだけの問題じゃなくて、伝統野菜という八事五寸にんじんだとか大高菜。こんなん尾張名古屋と言ってる範囲から、もともとは全然違う、尾張藩ではあっても名古屋ではないところの野菜ばっかなんで。ほかの野菜も入れていきますと十二分に京都、東京なんかと勝負するだけのものがあります。そういうことをやれば何とかなっていくんじゃないかと。
- ・特に言いたかったことは、南陽地区の半分ぐらいのところは、この計画からは見捨てられた地区になってしまう。こんなようなことが相当増えているので、名古屋市の総合計画と言えるのか。そもそもそこが大問題であるということを指摘しておきます。
- ・それに合わせて、都市計画上は道路がつくれぬ、縮小だという、どんどんどんどんあるものがなくなっていくということを言っている、そんな計画が総合計画かと。
- ・防災の問題についても、地元の組合員が出しているところにつくった排水機で水は捨てております。50 ミリ、60 ミリ、70 ミリの雨が降っても、農地で一旦受けて、自力のポンプで海に捨てています。そういうものを、これをいつかできなくなったときに、名古屋市はどうやってしますか。市長はゼロメートル地帯だと言いましたが、マイナス 1.7 メートルが一番低いところ。必ずポンプで揚げないといけません、そういうのをどうしますかって、そういうようなことが抜けてしまっている。こういうのをもうちょっとしっかりと考えていただきたいと思います。

【コーディネーター】

- ・ どうもありがとうございます。
- ・ ほかにいかがでしょうか。
- ・ 後ろのほうの方、お願いしましょうか。

#### 【8人目（守山区）】

- ・ 港区の方のタウンミーティングなので控えておりましたがけれども、今の先生のお話と関連して、私、教育的なものともまちづくりと農業とごちゃ混ぜになると思うんですけれども。
- ・ 今市長の肝入りというかあれで学習支援をある地区会館でやらせてもらって、それはそれですごくいいんですけれども、食べるものを自分でやっぱりつくる世代の子どもたちをつくらないと、日本って大変なことになるんじゃないかなと思うんですよね。そういうことで、今農地のことを言われましたが、私たちもあま市に土地を借りて自分たちで安全なものをつくることをずっと何年かやっているんですね。私は守山区なのでまだまだ農地はあるんですけれども、名古屋市にはあんまり農地ないのかなと思ってたら、今お話を聞いたらびっくりしました。
- ・ 私たち守山区の中志段味にいますので、すごい皆さん土地はあるんですけれども、そこに防草シートをかぶして、その前はベトナム戦争で使われた枯葉剤と同じ効力のある、猫でもなめたら死んじゃうようなのをまいて除草するんですね。そういうことも含めて、本当にこの農業っていう、本当に地に足の着いた市政というか国政をやっていないと、私たちは自給自足できないし、本当に輸入した安全なものを食べてられるのかなとかそんなことを思いますので、今のお話は時間がないといけないと思ってアンケートに書いたんですけど、ぜひ読んでいただいて。
- ・ 子どもたちに、自分の命を守って育てているのは食物だと、口に入るものは自分たちで責任を持って安全なものを自分でつくっていくという、そういう次の世代を育てないと日本は食べるものが本当にどうなるかなってとても心配しておりますので、よろしくお願ひします。
- ・ 防災、教育、絡めてお話ししました。

#### 【コーディネーター】

- ・ 今農業の話が出ましたけれども、都市像3のところには地産地消だとかいったことも含めた食の安心・安全の話が多分含まれていると思うので、都市像3のお話として今ご意見を受けとめることにします。
- ・ あと1人2人なんですけど。
- ・ ごめんなさい、比較的年齢層が若い方がいらっしゃるので、あの方にしましょうか。
- ・ お願いします。

#### 【9人目（港区）】

- ・ 港福祉会館がどこにあるか皆さんご存じですか。2階と一緒に併設されているところがあるんですけど、ご存じですか。港児童館があるんですけど。港福祉会館に来られる方、高齢者の方ですよね。その方たちが、車で来られる方がいらっしゃるんですけど、どこ

にとめているか知っていますか。駐車場あるんですけど、とめられないので道路にとめられているんですよ。僕、そこの近隣に住んでいまして、非常に迷惑しています。児童館が上にあるんですけど、児童館って子どもが利用しますよね。路上駐車があったら死角になって見えないと思うんですけど、いかがでしょうか。

- ・ 何度か福祉会館の方にもお願いしましたし、正直警察にも通報させていただきました。福祉会館の会長さんと社会福祉協議会の方と話し合ったんですが、市、区から予算がおりないから駐車場がつかれない、増設できないと言われました。子どもの安全はどうなるんでしょう。近隣住民は我慢すればよろしいでしょうか。いつまでに駐車場をつくっていただけますでしょうか。回答をお願いいたします。
- ・ ありがとうございます。

#### 【コーディネーター】

- ・ ありがとうございます。
- ・ 荒子川公園の近くですね。

#### 【9人目（港区）】

- ・ そうです。

#### 【コーディネーター】

- ・ ありがとうございます。
- ・ あともう1人、本当にコンパクトをお願いします。時間がありますので。
- ・ あの方。

#### 【10人目（港区）】

- ・ 環境情報について、意見を言わせていただきます。
- ・ スローガンは非常に立派です。名古屋市も40度を超しちゃったし、スーパー伊勢湾台風が来るという、そういうことを言われておりまして。
- ・ 環境審議員が意見交換をして、市に対しても要望を出すんですけども、ほとんど拒否されるんです。論議の過程でも、そんな意見出しても市は必ず拒否してくるから出さんほうがいぞと、こんな意見が出る。それ以外はほとんど環境対策についてやろうという意見を出すんです。そういう状況になっちゃうということは、市が提案してもすぐ環境問題については拒否する。
- ・ 具体的な事例は、この前にららぽーとに載っていましたが、これも、土壌汚染です。これは東京豊洲の東京ガスでも同じでしたけども、東邦ガスでも石炭から都市ガスを製造するのに相当の汚染物質、発がん性物質が出る。努力してほとんど処理してきたんですけどね。でも、完全にはクリアできなくて、残り50センチぐらいにしてオーケー、これ名古屋市が出しているんですけども、オープンに当たって、やっぱり環境調査しなさいというのが港区環境審議員の全体の意見です。それに対して市側は拒否。
- ・ 河村市長も知ってたんですよ。やはりオープンに当たって、特に地下水はね、この辺は1メートル掘ると、50センチ掘ると水が出るみたいに地下水が高いんです、水位が。

だからずっと土壤汚染した物質が地下を流れるという心配がありますので、環境測定をきちっとやる。

- ・それから、非常にいいのは、施設としても立派ですけれども、環境、低炭素モデル地区なんですね。1990年に、60%CO2など地球温暖化効果ガスを減らすと立派な提案で低炭素モデル地区になって、名古屋市も国も補助を、総事業費の4分の3も補助された。でも、それを具体的にどうしたら60%削減できるんだと。それは市民的にも非常に大きな表題なんだから出しなさいと言っているんですけど、なかなか出ない。これも環境審議員から意見を出しているんですね。ぜひそういうのに答えてほしいです。
- ・防災の問題でいきますと、ちょうど今この道路の前ゼロメートル、海拔ゼロ。先ほど8メートルの高潮防波堤、言いましたよね、あれはN.P.ですから、実質は標高でいくと6.5メートルになります。ですから、この防災センターの前にも、伊勢湾台風はここまで来ました、大体2メートル近く。スーパー伊勢湾台風になるともっと危ない。非常に心配しております。
- ・例えば、ゼロメートル地帯に拠点というか、よく見ると多くの家が倒れて、そして緊急に仮設住宅をつくるという場所なんかも必ず必要になっていくんじゃないかと。南海トラフ大地震にしても、スーパー伊勢湾台風にしてもね。だから、今ちょうどららぼーとの西側がさらに、これから病院とかその他大きな商業施設をまたつくと、交通問題がものすごく起きているんです。割と思ったより渋滞はないんですけども、一部地域では今日も渋滞しております。
- ・西側はまだ半分残っています、東邦ガスはこちら、臨港線の西側。そこを防災拠点にする、あるいは競馬場の跡地活用でそのような防災拠点にできないだろうかという提案をさせていただきます。長い目で見れば必ずスーパー伊勢湾台風は来る、南海トラフ大地震は来るということが決まっておりますので、ぜひ市長、スローガンだけじゃなくて、具体的なそれぞれの提案についてきちっと答えていただきたい。
- ・以上です。

#### 【コーディネーター】

- ・どうもありがとうございました。
- ・4名からご意見いただきました。
- ・農政のこと、食の安全、子どもの、特に路上駐車の話における子どもの安全、かなり具体的なお話でした。それから環境ですね。土壤汚染、低炭素の話、防災拠点の話が最後に出ましたね、防災拠点整備の話。ちょっと数多いですけども、よろしくお願ひします。

#### 【市長】

- ・7人目の方の、農政が大分抜けとるというのはやっぱりいかん。
- ・大きいテーマでね、これ。僕の記憶では300ヘクタール。日本の都市内農地で最大です、この港区。行ってトウモロコシの生焼いたやつ食うとうまいですよ、これ。本当にええところですけども。
- ・しかし、本当にもうからん時代になりましたんで、農業は。だで、大変なわけだわ、こ

れ。だでまあちょっと、今までのその中でわけわからんことばっか言ってきたんだけど、これは。農地を守る、だけどどうのこうのいって。一遍ちゃんと考えてみるというのも大事だわね、これ。せっかくこんだけの農地を持つとるんだでと思います。

- ・子どもたちの食べるもの。安全ということで、学校の中でも相当やっとなとは言っとなけど、まあこれは当然ですけど、相当熱心に、英語を教えるのはええけど、食べ物のことをしっかり教えるというか、体験してもらおうというか、大事だと思いますね、これ。
- ・給食室がよう、みんな使えんようになっとなだ、聞いたら。あれがあるでしょ、子ども食堂いって、みんな努力しとらっせる人があるがね。だけど、考えてみたら、小学校に食堂あるじゃないですか、これ立派なやつが。あそこをみんなに使ってもらえやええがやと言っとなけど、一応文部省がどうのこうので。どうのこうのじゃない、そこから動かせんだわ、こういうのは。ほんだで、日曜やなんかでも本当は小学校の教室へ来て、パーティエでもええけど、食に関することでもみんな子どものうちからトレーニングすると。肉じゃがでもつくると、みんなで。できたらええと思っとなけどな、わし。これも進まん話の1つですわ。
- ・若い方の港児童館の駐車場、これちょっとわかりませんで、区長にかかりますけど。そんな変なことだったら何ぞせないかんですよ。近所の人に迷惑かかっとなだし。

#### 【9 人目（港区）】

- ・写真もありますよ。ごらんになります。

#### 【市長】

- ・後で持ってきてちょ。
- ・金がないからってすぐ言うんだけどね、半分うそ、これは。貧富の差が激しいで本当にないように、自分の財布の中に金がないのと名古屋市に金がものすごくあるのと別なんです、これ。皆さんの、この港区ですから一番金もうけの、日本の中心ですよ、これ。名古屋港から毎年7兆円ですよ、貿易黒字が。半分トヨタですけど、ものすごい金があるんです、実は。それが全国に分配されとるわけで、ないというのはうそです、これは。ということでございますので、一遍区長、行ってチェックしてきてちょ、写真見て。

#### 【9 人目（港区）】

- ・今日も来る途中とまっちゃいました、たくさんとまっちゃいました。

#### 【市長】

- ・はい、承知いたしました。

#### 【9 人目（港区）】

- ・来ていただけるんですか。

#### 【市長】

- ・はい。

【9 人目（港区）】

- ・抜き打ちでないという意味ないと思うんですよ。

【市長】

- ・とりあえず区長でええだろ。

【9 人目（港区）】

- ・もちろんなんですけど、社会福祉協議会担当の方に文句も何度か言って、そのときに利用者が使用しているのは認めていただいたので、1時間に1回見回りますと言っていたんだんですね。そうしたら、またとまってる。張り紙もするとおっしゃったんで、1時間たっても張り紙されてなかったんで電話したら、最近やってないです。連絡もなしにやってないって言われて、何ですかと言ったら、最近とまってなかったんであまり見てなかったです。そんなことで勝手にうそついて、うそつかれたんですね。やると言ってやらなかったわけです。改ざん、うそじゃないですけど、わからないですけど、どっかの市長の方が KYB さんがダンパー不正問題で来るのが遅いって、謝罪に来るのが遅いとおっしゃられた、言ったと思うんですけど、謝罪するのが遅かったのかなと思います。
- ・すみません。

【市長】

- ・わかりました。それじゃ、これは区長にまず行ってもらうと、現場へ。

【9 人目（港区）】

- ・1週間張りついていただきたいです。お願いします。

【市長】

- ・10 人目の方。市への要望は、市は必ず拒否すると。どこまで拒否するかちょっとわかりませんが。もしいかんかったら、市長ホットラインというのがあって、ホームページに。わしのほうへ出してもらえれば、全部見てますから。ようけ来るで大変だけど。そのまま実現されるかどうかは、またちょっとその後の問題ですけど、必ず検討には入ります。何もやらんような本当にろくでもないやつは、役人は怒ったらないかんですよ。何なんだって、ようけ給料もらって何やっとなる言わないかん。
- ・土壌汚染というのは、やっぱり今ものすごく厳しいはずですからね、これ。土壌汚染、必ずチェックして。アメリカはスーパーファンド法って昔できたんですよ。地主はどこまでの責任をとるとというのが、たしかわしが国会におったときにできたはずですよ。厳しいと思いますけど、ちょっと状況がわかりませんので。

【10 人目（港区）】

- ・港区から要望を出してますので、ぜひ見てください。

【区長】

- ・福祉会館、児童会館の駐車のお話いただきましたので、私も現地へ行こうと思っています。ただ、この福祉会館、児童会館は区に1つの施設なので、多分区内全域から利用者が集まってくると思うんですね。そういう中で、敷地の制約の中で駐車場をどのぐらい確保されているか、ちょっと現実知らないですけども、今のお話だと多分確保されていないんだろうと思います。
- ・そうしますと、やっぱりほかで借りるか、あるいは利用者の方に抑制を促すようなシステムというか、その辺をきっちりお伝えした上で、合意の上で利用してもらうことになると思います。
- ・ただ、福祉会館、児童館は健康福祉局が所管している施設で、社協とおっしゃるのは、多分指定管理者の方がそこで責任を持ってやっていたらいいと思いますので、一度健康福祉局の人とか社会福祉協議会の人とも一緒に行って話し合いをして問題が解決できるように携わりたいと、かかわりたいと思っていますので、よろしく願いいたします。
- ・以上です。

【9人目（港区）】

- ・いつまでに解決していただけますか。

【区長】

- ・いや、だからそれは、私は今ここで何日までということとは言えませんが、まずとりあえず来週、関係の方々と一緒に現地に行かせていただいて、そこからちょっと。多分現地でいろいろ議論されていると思いますので、その実情も把握した上で、関係部署と一緒に協議していきたいと思っています。

【9人目（港区）】

- ・ごらんになられた回答というのは、いつ。我々はどう知ればよろしいでしょうか。どういうふうにやっていくかというのは、どのように。

【区長】

- ・お名前と連絡先を聞かせていただいて、その結果をご連絡させていただきます。

【コーディネーター】

- ・終わった後にまた話してください。

【企画調整監】

- ・農業の問題についてご指摘いただきまして、どうもありがとうございます。
- ・名古屋市全体で、ご指摘もいただきましたけど、890ヘクタールですか、1,600人ぐらいの方が農業をやっているということは、私ども、農業の大切さについては十

分理解しております、どんどんどんどんやっぱり農地、緑がなくなっていると理解しておりますが、確かに今の中間案の中では欠けていることもありますので、今ご指摘いただいた点一回持ち帰りまして、担当の所管部局と一回議論してまいりたいと考えております。

- ・また、市域全体を超えて尾張全体を見ますと、広大な農地がまだ残っておりますので、同じ都市計画の整備ともなっておりますので、そこも含めて、どういう形で計画に含めるか一回検討してみたいと思います。
- ・ご指摘ありがとうございました。

#### 【10人目（港区）】

- ・ちゃんと答えてないよ、私の質問に答えてないよ。

#### 【コーディネーター】

- ・その点だけ一言だけ。どの点でしょうかね、特に。一言だけ。

#### 【10人目（港区）】

- ・低炭素モデル地区ね、全然答えてない。

#### 【コーディネーター】

- ・港明地区の。

#### 【10人目（港区）】

- ・いろんな要望は、審議会の議事録が行ってますから、ぜひそれを見て市長また判断していただきたいと思いますし、直接市長ホットラインなどにも要望していきたいと思います。
- ・土壌汚染は、先ほどの農業の問題とも非常に関係がありますので、ぜひ。人間様には関係ないといっても、野菜をつくる土壌は微生物がつくるんだね。土壌汚染したらそれが、微生物が死んじゃうんです。そういったところを大事にしていきたいと思います。
- ・以上です。

#### 【コーディネーター】

- ・意見のシートがありますので、不足する部分がありましたら、そちらにお書きいただくことでご理解ください。
- ・時間も押していますので、大変申しわけございません。
- ・本当はまだ手を挙げてご発言されたい方もいらっしゃると思いますけれども、最後に司会から案内あると思いますが、アンケートと同様にご意見のシートがあると思いますので、そちらに書いていただきたいと思います。
- ・予定の時間をちょっとオーバーしつつあるということでございますけれども、最後に、区長、市長の順で簡単に今日の所感を一言言っていただいて締めにしていきたいと思います。

- ・ 区長から、一言だけで結構でございますので。

#### 【区長】

- ・ 今日、時間の関係もありまして、全ての方から直接ご意見を聞くことができませんでした。その点については申し訳ないと思っております。
- ・ 今日承りましたご意見、ご提案につきましてはできるだけ区政に反映して、今後とも魅力ある港区にしていきたいと思っておりますので、ご協力を引き続きお願いしたいと思います。どうもありがとうございました。

#### 【市長】

- ・ ありがとうございます。
- ・ ずっと聞いとりまして、そればっか言っとりますけど、やっぱみんなの家を回らないかんわ、そりゃ。特に港区、中川、南はやっぱ1軒1軒のとこ行くと違うんですよ。よう出てくる人は出てくる人なんで、これもありがたいけど、出てこんとこで、体の不自由な人やら外国人やら、そういうとこでやっぱいろんな悲劇が起こる可能性があるんで、そのくらいのサービスはしてもらわなかんぞと思っとるんだけど、これ拒否されとるでかんわ。
- ・ ということでございまして、よう来ていただきまして、ありがとうございます。サンキューベリーマッチ。

#### 【コーディネーター】

- ・ ありがとうございます。
- ・ 私も最初のうちは、都市像 1、2 あたり皆さん手を挙げなかったのでゆっくり時間をかけてしまいましたが、うっかりしていました。都市像 3、やはりこの港区という特性からして災害に対する関心があることをすっかり忘れていまして、必要などころにもう少し時間をとるべきでした。いろいろご意見、ご質問をいただいた、まだ足りないところもあるかと思えますけれども、先ほど申し上げましたように、シートに書いていただくなりして対応していただきたいと思えます。
- ・ 進行があまり上手でなくて、皆さんにご迷惑をおかけしました。しかしながら、皆様方のご協力がございまして、おおむね時間どおりに終わることができましたことに感謝申し上げます。司会にバトンタッチしたいと思います。
- ・ どうもありがとうございました。

(以上)